

研究課題番号	4-2203
研究課題名	国立公園の環境価値と利用者負担政策の評価手法開発に関する研究
研究実施期間	令和4年度～令和6年度
研究機関名	京都大学
研究代表者名	栗山 浩一

## 1. 委員の指摘及び提言概要

経年的な web アンケートの蓄積など、3つのサブテーマともに予定通りの進捗状況であり、十分な研究成果が期待できる。中間発表時点で、多くの誌上発表や口頭発表などがあることも評価できる。一方、利用者負担制度を採用できるかどうかは政策的・政治的な意思決定であり、それ自体は科学の課題ではないのではないか、また位置情報など大きな経年的データの蓄積はあるが、携帯の普及状況や基地局の整備などに大きく依存するため、経年的なバイアスがあるのではないか、などの疑問がある。さらに、国立公園政策のシミュレーション分析により、国立公園の環境価値（個別的、質的な評価）を反映した利用者負担制度を示していただきたい。最終報告の段階では、政策シナリオの妥当性とその根拠を明示していただきたい。

## 2. 採点結果

評価ランク：A